



2014 年（平成 26 年）7 月 20 日（日）発行

第 10 回通常総会開催

第 10 回通常総会は、2014（平成 26）年 6 月 8 日（日）午後 1 時 30 分から、いわき市林業研修センター湯ノ岳山荘で開催されました。

先ず、いわきの森に親しむ会を代表して、松崎理事長より NPO 法人として、記念すべき 10 回の総会を迎えたこと等の挨拶がありました。

総会に先たち、司会者（池野上副理事長）より総会出席者について、会員 113 名中、総会出席者 28 名、委任状 56 名合計 84 名と報告されました。

よって、過半数 57 名を超え総会成立の報告がされました。



司会者池野上副理事長

議長には、鈴木正明さんが選出され、議事録著名人に若森秀樹・小泉宗正さんが選任され議事にはいりました。



議長に選出された鈴木正明さん

理事長より平成 25 年度事業及び平成 25 年度会計が詳細に報告されました。

引き続き、監事より監査報告され慎重審議の結果、平成 25 年度事業報告および会計報告は原案通り承認されました



議案の報告・提案する松崎理事長

平成 25 年度事業報告の主な事項を記載します。

1.市民のもりづくり事業活動

(1)活動人員と安全対策

活動人員は総計 3,836 名となり、対前年度 59%増。安全対策は残念ながら 1 件の怪我が発生した。

(2)湯ノ岳

栗園跡地の再生整備のため J-V E R 植樹祭を 6 月に実施した。（会報 No6-P6 掲載）

(3)21 世紀の森

プロ野球の森については、多くの市民に参加してもらおう基盤整備に取り組みました。

(4)戸渡里山

ソバ畑は台風の影響で予想外の不作でした。

(5)新舞子海岸林

磐城森林管理署といわき林業青年会議所の協力を得て、海岸林再生のため「苗木 for いわき」プロジェクトを本格的にスタートさせ、県外のボランティアを中心に多くの人達の参加を得て整備を行いました。

(6)国土緑化推進機構支援事業「森の教室」事業への協力

福島県内の幼稚園、保育所の児童を対象に森の教室の支援をしました。



総会会場風景

2.森とのつき合い方の勉強、プログラム開発に係る事業活動

①参加人数

本会及び他団体主催の研修会・勉強会と調査活動の参加人数は会員 580 名、その他 394 名、スタッフ 123 名で合計 1,097 名となりましたが、参加者数は対前年度 13%減となりました。

3.自然案内人の育成ならびにインタープリテーション事業活動

①自然案内人養成講座 3 日・参加者会員 33 名、その他 7 名。

講師

筑波大学田村先生（土壌）

日本自然保護協会時田先生（自然観察）

②自然観察会・自然体験活動は、小学校の環境教育支援活動増、21 森公園復興フェスティバル等により対前年度 30%増となりました。（参加者 3,213 名、スタッフ 816 名）

4.森林や林業に関する啓蒙事業活動

①うつくしま 21 森林づくりネットワークの地方推進組織として活動してまいりました。

5.森に関する各種情報の受発信事業活動

- ①会報「ヤマザクラ」年 4 回の発行。
- ②森に関する情報を毎月会員を中心に発信。
- ③ホームページにより広く一般に発信。

6.その他本会の目的達成に必要な事業活動

①指定管理者としていわき市林業研修センター湯ノ岳山荘の管理運営を行いました。

7.その他

(1)ろうきん森の学校事業

ろうきん森の学校事業を開始してから満 9 年を経過したことに伴い今後のあり方について関係者間で協議され、今後も継続されることになりました。

次に、松崎理事長から平成 26 年度事業計画及び予算が詳細に説明されました

事業の実施方針は「安全第一に楽しく」をモットーに会の目的である「森に親しみながら持続可能な地域づくりに寄与する」ために取り組んでいくことを基本とする。

もう一つとして、ろうきん森の学校が 10 年を迎え 11 年目以降も継続することになったことに伴い 10 周年事業を実施することが提案され、慎重審議の上平成 26 年度事業及び予算とも原案通り承認され総会は無事終了しました。

平成 26 年度事業内容は、ほぼ昨年同様の活動を実施することになります。

但し、昨年度の森づくりの課題として、プロ野球の森の整備、海岸林再生整備については長期間に及ぶ事業になるので、多くの市民参加を得るための仕組み作りが求められていることや、森林整備の担い手の確保が急務となってきているなどの課題があります。

懇談会の実施

総会終了後、例年通り懇談会が開催されました。和やかな雰囲気の中で近況や日ごろの活動等について意見を交換ができました。



懇談会風景

森林整備班の活動 桑原敏和

森林班の主な活動は下表の通りです。
森林整備班の活動一覧表

(H26.4.19～H26.7.16)

月/日	曜	実施事項	人名
4/19	土	クヌギ伐倒木の玉切・運搬(管理道路)	3
4/23	水	クヌギ伐倒木の玉切・運搬(管理道路)	2
5/3	土	クヌギ伐倒木の玉切・運搬(管理道路)	3
5/7	水	雪で倒壊したきのこハウス2棟の補修	4
5/14	水	きのこハウス用支柱材の杉伐採	4
5/17	土	プロ野球の森孟宗竹伐採	6
5/28	水	きのこハウス支柱建柱作業	4
6/4	水	きのこ栽培枠内へ黒土・腐葉土追加	4
6/7	土	トトロ設置屋根の杉皮葺き	1
6/11	水	山荘周辺の草刈作業	4
6/14	水	木材の運搬(富岡より)	4
6/25	水	山荘周辺の草刈作業	4
7/2	水	薪制作業(炭焼き材・ストーブ燃料)	4
7/5	土	新舞子海岸林の整備作業	5
7/12	土	海岸林育樹(下刈)・地拵・植樹支援	7
7/16	水	戸渡ソバ畑種蒔き準備(草刈)	9
計		森林整備班参加延人数	68



薪制作業

○夏場を迎え作業に当たって、作業安全の確保と熱中症を防止のため適宜休憩を取り入れ水分補給に努めました。

まだまだ厳しい暑さが続くと思われます油断せず安全の確保と健康管理に努め楽しい森林整備作業を目指してまいります。

○今回の森林整備班の活動として、雪の被害を受けたキノコハウスの補修など、本会の活動設備の補修やソバ畑の草刈作業等中の広い活動でした。

海岸林の再生整備 松崎

(4/10以降)

国連が定めた5月22日(生物多様の日)に世界各地の子供たちが、いっせいに学校や地域で木を植える活動をグリーンウェイブ(緑の波)と称し2011年から取組まれていますが、今年も本会もこの運動に参加しました。午前中は本会独自に参加し、午後は福島県緑化推進委員会が行う行事に参加しました。

5月22日(木)グリーンウェイブ(緑の波)の日



コンテナ苗を専用工具で掘削植樹した

目次 (主な内容)

P

第一〇回通常総会開催・・・・・・・・・・・・・1

森林整備班の活動・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・3
海岸林の再生整備

木工クラフト班の活動・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・4

農作業の活動報告・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・5
田植(好問)

プログラム勉強会グループ活動・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・6

いわき市立小学校学習支援活動
錦東小学校・川部小学校
いわき明星大学学校林整備・調査支援
筑波大学植生調査支援

「研究報告」筑波大学・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・8

ろうきん森の学校・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・8
ろうきん友の会自然体験

自然観察班活動報告・丸山公園・・・・・・・・・・・・・11
次回計画(いわき公園・夜の生き物観察)

「森と風のがっこう」視察研修・・・・・・・・・・・・・12
「お知らせ」(情報)・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・12

ふくしま・グリーンフオレストターの会総会
福島県森の案内人の会いわき支部総会

海岸林の再生整備 参加者数表

(2014.5.10~2014.7.12)

月/日	整備内容	本会 トチギ	ボラン ティア	計
5/10	地拵え、植樹	5	31	36
5/17	下刈り、地拵え、植樹	6	42	48
5/22	グリーンウェーブの日 下刈り、地拵え、植樹 福島県緑化推進委員会 行事 植樹	12		12
5/31	下刈り、地拵え、植樹	6	33	39
6/22	〃	3	18	21
7/5	〃	10	65	75
7/6	〃	5	31	36
7/12	〃	7	23	30
計		84	243	327

木工クラフト班の活動 桑原敏和

木工クラフト班活動一覧表 (5/6~7/15)

No	月/日	曜	木工クラフト 実施事項	参加人 数
1	5/6	火	吊り下げ棚塗装、椅子 (踏み台) 用材製材、 木工クラフト班花見	11 (2)
2	5/20	火	椅子(踏み台) 材料切断 木ねじ穴加工	11 (2)
3	6/3	火	椅子(踏み台) 材の組立	11 (2)
4	6/17	火	椅子(踏み台) 材の組立	11 (2)
5	7/1	火	ペーパーナイフ (取っ手部分3層貼付)	10 (1)
6	7/15	火	サンショウの すりこぎ棒作成	11 (2)
計			参加者 (指導員)	65 (11)



椅子(踏み台)の組み立て

木工クラフト班の活動について

○これまでカスタネット、バターナイフ、リース、寿司台、おぼん等比較的小物を作り勉強してきました。今回は、椅子やすりこぎ棒等屋内や料理に使用する生活道具に挑戦しました。

また、クラフトの合間にマツポックリのトトロの小屋を建て来荘者を常にお迎えできるように設置しました。



小屋に収まったトトロ

農作業 2014 年夏の活動報告

農作業班 太田

1. 収穫の作業等

- ・タマネギ、ソラマメ、じゃが芋などの収穫を行ないました。
- ・じゃが芋は、イノシシの侵入があり半分以上被害がありました。

タマネギ(6/14,16)、ソラマメ(6/11,14)、じゃが芋(6/9)、ラッキョウ(6/2)

2. 苗の植え付けと種蒔きの作業

- ・落花生の種蒔き、さつま芋苗の植え付け作業などを行いました。

さつま芋：5/19, 5/26, 6/23 温床で苗作りした苗 合計約500本。

ネギ：種蒔きして育てた苗を6/30に定植。
落花生：5/12, 5/19、自家採種の種を畑に直蒔き。



サツマイモ苗床

農作業活動報告

サツマイモ植え付け作業について



サツマイモ畝作り作業

3.ビニールハウスの再建

- ・今年2月の大雪の影響で、ハウスが倒壊してしまいました。
- ・その再建を4月中旬以降から行ない、5月12日には完了しました。



ビニールハウスの再建

4.その他

- ・イノシシ避けフェンスの補強作業、農道や畑の周囲の草刈り作業などを行いました。
(今年初めて猪の被害がジャガイモに発生した)

田 植

- 1.日 時 2014 (H26) 年5月25日 (日)
9:00~12:00
- 2.場 所 好間町中好間川原子作地内
(冬水田圃:約500㎡)
- 3.品 種 コシヒカリ
- 4.参加者 5名



今年は行事等が重なり田植メンバーはこれまでにない少数精鋭となりました。

(金成公園岩出の郷でも田植が行われました)

今年の水田にはオタマジャクシが思ったより多くみられました。冬水田圃は健全と思われます、今年も美味しいお米が収穫できると思います。

また、田植が始まるとカルガモが水草や(オタマジャクシ?)を採食しながら寄って来て腰を伸ばしながら眺め楽しみました。



よってきたカルガモの夫婦?



木田章一さんご夫妻にはいつもお世話になります、
楽しく美味しい昼食でした

プログラム勉強会グループ活動

野口 紘

6月1日、新潟県において開催された第65回全国育樹祭に参加してきました。

「学校林等活動の部」において旧田人第二小学校が、8年間森林環境教育を続けてきたことが評価され、準特選となったことに伴い、酒井前校長と共に表彰式に出席するためでした。

残念ながら田人第二小学校は田人地区の小中学校の統廃合により今年3月に廃校となってしまいましたが、私達も環境教育支援活動の中で、多くのことを学ぶことができました。

田人第二小学校における経験を今後の環境教育・学習支援の中で十分生かして行きたいと思っております。

1. いわき市立小学校学習支援活動

(4/24~6/27)

月日	小学校名	学年	学習	参加者	支援者
4/24	錦東	3	総合学習	21	8
4/21	下遠野	3	森林環境	34	2
〃	〃	4	河川流域	33	1
4/30	〃	4	流域環境	33	6
5/1	〃	3	総合校庭	33	7
5/15	平6小	3	総合森林	61	11
5/28	中央台北	4	総合森林	78	6
6/5	平6小	3	総合森林	63	9
6/26	下遠野	4	流域探検	34	8
6/27	江名	3.4	森林環境	40	9
計	5校			430	62

2. その他学習支援活動 (4~6月)

(1) 田人環境資源を活かす会の支援活動

4/10：旧田人第二小学校林整備（遊具撤去他）
支援者 6名

4/17：旧田人第二小学校林における
プログラム作成 支援者 10名

4/25：川部小学校「春の遠足支援」生徒他
102名（旧田人第二小学校林探検）
支援者 12名

◎主な2校について詳細を記載します

学習支援

錦東小学校 平成26年4月24日（木）

春の遠足支援

川部小学校 平成26年4月25日（金）

「学習支援」

◎錦東小学校（3年生 児童数21名）

錦東小学校の自然体験学習支援は新3年生の自然体験学習（全5回）の第1回目です

1.実施 平成26年4月24日（木）

2.テーマ 命のつながり

3.実施内容

4班に分かれ自分たちの木を決め、名前をつけます。遠くから樹形などをスケッチし、近くで詳しく観察、気づいたことをグループで話し合いました。



自分たちの木をスケッチする

各班は、自分の木が季節によつての違い（変化）等を1年間観察します。3年生児童がどのように進化するのか楽しみです。



近くで詳しく観察する

生き物が大好きだ



カエル、テントウムシが観察出来た

「春の遠足支援」

◎川部小学校（1～5年生 児童数 102名）

1.実施 平成 26年 4月 25日（金）

2.支援内容 春の遠足（田人第二小学校学校林）

3.実施内容

田人二小が廃校になり、川部小に編入されたことから、川部小（修学旅行の6年生以外）の全員が、田人二小の学校林（木林子林：きりんこりん）に登りました。



コースは、登り初めから頂上まで急坂が続きます。



頂上まであと一息、頑張る2年生

田人に入り、学校林作りに尽力した、田人環境資源・蛭田会長の歓迎のご挨拶があり、頂上広場で自然観察とスケッチ。途中のコースの沢で水生昆虫観察、木の実の採集等々、楽しい自然体験だと思っております。



木の実を採集した一部



沢で水中昆虫を探す



木の实・木の枝のクラフト教室

旧田人第二小学校体育館や校庭でクラフトなどを行いました。

(2) いわき明星大学学校林整備・調査支援

4月：4、11、14、18、21。 (14名)

5月：2、9、14、16、19、26。 (14名)

6月：6、13、20、26。 (13名)

(支援者数)

(3) 筑波大学（生命環境科学）植生調査支援

6/7：湯ノ岳間伐場所および

湯ノ岳フィールド

筑波大学先生他1名。 支援者1名。

6/14～15：湯ノ岳フィールド

筑波大学先生他14名。 支援者1名。

これまで筑波大学では、湯ノ岳で人口林の間伐効果について研究してまいりました、その研究結果について本会に説明がありましたので報告致します。(松崎和敬)

研究報告

「スギ・ヒノキ林における間伐が土壌呼吸と森林の炭素吸収に及ぼす影響について」

地球温暖化を緩和することが緊急の課題となっています。

化石燃料の消費を押さえることがCO₂排出抑制につながりますが、大気CO₂を吸収する森林の機能に着目しその機能を増加させることも大気CO₂濃度の削減につながります。

現在林野庁を中心に間伐がなされず荒れていて、大気CO₂の吸収能力が低下しているスギ・ヒノキの人工林を間伐し、CO₂吸収能力を増加させていく森林施行が進められています。

しかしながら、本当に間伐をすると大気CO₂の吸収増加につながるのか、実は証明されていなかったのです。

そこで、筑波大学土壌環境科学研究所の大学院生の茂木もも子さんは、湯ノ岳のヒノキ人工林で、また同じ研究室院生の蒙仕康君はスギの人工林で間伐前後のCO₂の吸収量と放出量の収支を細かく測定し、間伐の効果を証明しました。

二人の研究により、スギ、ヒノキ林とも間伐すると大気CO₂固定量(吸収量)が増加することが明らかになりました。

立木及びリターによる炭素固定量の方が土壌呼吸による炭素放出量を上回り、間伐後2年間の炭素収支がプラスになりました。

この研究により間伐施行が森林保全だけでなく、地球温暖化抑制につながることを証明しました。

本研究にあたっては、湯ノ岳生産森林組合のご協力により、実証試験林として4年間利用させてもらったことが一番大きかったと思いますが、本会としても、本研究の手伝いをさせてもらい、成果を挙げることに結びつけることができたことは、今後の森づくり活動に多少なりとも寄与できたのではないかと考えております

ろうきん森の学校 若森秀樹

(平成26年4月~6月)

1. 平成26年4月20日(日) (曇)



「ろうきん森の学校」看板前で。

1. 実施内容

① 山菜探しと自然観察会

リーダー佐藤(行)さんの案内でコースを観察しながら山菜の料理方法を含めて解説と採取を行いました。

採取した山菜は30種以上を数え昼飯に料理されました。



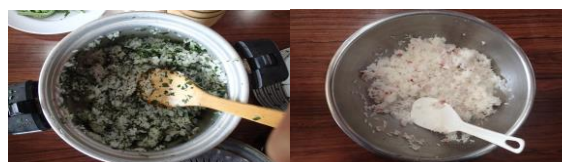
山菜は30種以上 (同定作業)

② 野外料理体験

ご飯: ウコギ飯、タケノコ飯。味噌汁はワカメとタケノコ。

タラノメを代表に山菜の天ぷらとし頂きました。美味しい半日でした。

○本日野外料理のご飯



ウコギ飯

サクラ飯

2. 参加者 16名

2. 平成 26 年 5 月 18 日（日）（晴）

1. 実施内容

① 山菜探しと自然観察会

山菜の観察が主力となり、一般的に山菜と言われる以外に食べられる植物の多いのに参加者はビックリ。フィールドではモミジイチゴが色づき始めました。これからが楽しみとなる。



モミジイチゴの実が黄色く色づき美味しいよ。

② 森林療法の体験

観察の途中森林療法を体験。木漏れ日の中でゆったりと休み心身のレフレッシュを感じました。

③ 野外料理体験

昼飯に、フィールドで採取した数多くの山菜の天ぷら、一つずつ味わうだけでもお腹が一杯です。

又、各自蕎麦粉のお焼きに挑戦味わいました。いつもながら、幸せの時間。

④ モウソウ竹の伐採体験

労金連合の参加者はスギ林に侵入したモウソウ竹の伐採を体験しました。

森林整備（育樹）を体験して頂きました。



モウソウ竹の伐採体験

2. 参加者 25 名（労金連合 10 名を含む）

3 平成 26 年 6 月 15 日（日）（晴）

1. 実施内容

① 季節を楽しむ里山散歩

- ・爽やかな梅雨の中休み、普段は見過ごすものもゆっくりと観察する事ができました。今回は、昆虫や生き物を数多く確認されました。
- ・筑波大生は、ブナが観察される湯ノ岳山頂北斜面の森林に入り観察しました。

観察されたもの（リーダー：津崎）

樹花：

ムラサキシキブ、ヤブムラサキシキブ、ウメモドキ。

草花：

コウゾリナ、ホタルブクロ、オオバギボウシ、ドクダミ。（外来種：ヒメジオン、ブタナ、ニワゼキショウ、アカツメクサ、シロツメクサ。



ホタルブクロ

実：

ウグイスカグラ、モミジイチゴ、クサイチゴ、ヤマウルシ、ニワトコ、マユミ、コウゾ。

蝶：

クロヒカゲ、キタテハ、キタチョウ、スジグロシロチョウ、ヒメジャノメ、コムスジ。



ヒメジャノメ

他：

アカスジキンカメムシ、アメンボ、アカガエル、ツチガエル。

音：

ヤナラシ。香：サンショウ。

音：ヤマナラシの観察について



パラパラ音をたてる「ヤマナラシ」葉の構造、ゆれ方をじっくり観察しました。



ブナの大木を見上げる筑波大学生

②森の手入れ体験

・広葉樹林の手入れえお体験しました。手入れは株立の整理や低木を除去、森の中が明るく風通しの良くなることを実感しました。



森の手入れは初めての体験とか

③野外料理体験

ウコギの炊き込みご飯。タケノコとワカメの味噌汁。ハチク、コゴミ、アスパラガス、ヤマウド等の料理を楽しみ味わいました。

2.参加者 26名 (含む筑波大生 14名)

ろうきん友の会自然体験

- 1.実施 平成 26年 6月 3日 (火) 天候：曇
- 2.場所 湯ノ岳山荘 (観察コース・森の工房)
- 3.参加者 16名
- 4.実施内容

(1)自然観察会

観察コース及び管理道路にて、山菜を重点に観察会を行いました。フィールドは新緑の季節、山菜を確認するだけで味わうことは出来ませんでした。

(2)木工クラフト作り

先ずバターナイフに挑戦、クルミ油を丁寧に塗りこみ仕上げておりました。



バターナイフ作りスナップ

(3)野外料理体験

石窯料理：焼芋。ニンジン・タマネギの焼き野菜。ピザ料理を体験しました。昼食には、キノコ、山菜料理を頂きました。



ピザ：焼き上がりをイメージしトッピング



山菜料理がいっぱい楽しい昼食

自然観察班活動報告 (平成 26 年度)

今年度のテーマ・行って見よう！いわきの公園

第 1 回：丸山公園「春の自然観察会」

1.い つ：平成 26 年 4 月 26 日 (土)

9：00～12：00

2.どこで：丸山公園&湯ノ岳山荘周辺フィールド

3.参加者：10 名 (スタッフ：11 名)

4.実施内容

5 月 26 日 (土)9：00 より、丸山公園、湯の岳周辺での春の観察会は、参加者 10 名、スタッフ 11 名とマンツーマン以上のゴージャスなメンバーで、まさに春爛漫の新緑の中お天気にも恵まれ和気あいあいと開催された。

今回の観察会のテーマはサクラのいろいろ。葉桜になってしまったソメイヨシノ、わずかに花びらを残すヤマザクラ、満開のウワミズザクラ、蕾の膨らんだイヌザクラと時期の異なるサクラと、キジムシロやニオイタチツボスミレやセンボンヤリなどのいろいろな春の草花、また丸山公園の動物たちの紹介やシカの餌やり体験などの後、熱い紅茶とクッキーのおもてなしで締めくくられた。

参加者の中には北から避難されていて里山の風景に戻れぬ故郷を重ね合わせ感慨にふける方もおられた。

今回は「いわき公園」での夜の観察会。いわきの森に親しむ会ならではの夜の観察会。ぜひ非日常の世界を楽しんでもらいたい。

(8 月 9 日 (土) に計画しております)

古川 眞智子

観察会スナップ



今回の自然観察会への参加者は、全員が大人の方々に小学児童等の参加者はありませんでした。

原因は運動会等学校行事と重なったことによるものと思っております。今後の計画に活かして行きたい。

次回計画について

第 2 回：いわき公園「夜の生き物観察会」

観察会責任者 鈴木 勤

1.開催の趣旨 (要旨)

自然界では、夜でも沢山の生き物たちが活動しています。そんな生き物たちに出会う事が出来ず。

夜にも活動している生き物たちを知ることで、自然の仕組みや不思議さを理解して頂く事が目的です。

2.募集概要

(1).開催日時：平成 26 年 8 月 9 日 (土)

18 時 30 分～20 時 45 分

(2).集合場所：県立いわき公園駐車場

(ラパークいわき側)

(3).募集定員：先着 20 名

(4).参加費：200 円/1 名 (保険代等)

(5).服装等：外歩きできる服装、懐中電灯、虫よけスプレー

(6).雨天時：小雨決行。

(雨天中止の場合の連絡体制は別

記)

(7).参加申込：最終日 8 月 2 日 (土)。

連絡先：湯ノ岳山荘。

3.観察会概要

○普段中々行くことのない、夜の公園をわくわく・ドキドキしながら歩いて見ます。

○暗い森の中でライト (光) に集まる虫たちを観察、ライト (光) を消して森の暗さや静けさを体験してみます。

○樹液に集まる虫たちやセミの羽化等も観察することが出来ると思います。

○観察会スタッフは、本会員が務める。(10 名)



夜の観察会チラシ

「森と風のがっこう」視察研修

メンバー：松崎・桑原・吉田・横田・馬場口・伊藤
フクシマ環境未来基地他：塚本、本宮
あぶくまエヌエスネット：伊藤。

平成 26 年 7 月 7 日（月）～9 日（水）にかけて、「森と風のがっこう」視察研修に参加してまいりましたので、学んだ一部を記載します。

場所：岩手県岩手郡葛巻町江刈 42-17

旧葛巻町町立小屋瀬小中学校上外川分校跡

（昭和 3 年開校・平成 8 年閉校）標高 700m、集落戸数 11 世帯、2001 年廃校再利用し開校。

宮澤賢治と環境共生の精神を糧に、地元の方々が生活の中で言われている「もったいない、ありがたい、おかげさまで」を合言葉に 2001 年に開校しました。

活動は、楽しみながら足元にある資源を活かした循環型生活が体験出来る場としました。

それは、自然エネルギーと農的生活をテーマに持続可能な地域づくりを実践の場としました。

宿泊研修棟は漆喰仕上げで保温と断熱効果を高め、電気は太陽光発電より全量供給、暖房（お湯）は薪ボイラーと太陽光温水器の組み合わせの建物でした。（二泊体験しました）

トイレは、エコポストトイレとバイオマスガスタンクを備え陶管浄化装置を採用等エコ設備でした。

森（フィールド）の名は「ポランの森」と「子育ての森」で外川川沿いの平坦な森で、コースは宮澤賢治と絵本の世界でした。



「森と風のがっこう」全景

エコ活動は、知識だけでは解らないが、体験して解ることが多いと学びました。（伊藤）

「お知らせ」 本会に関係ある団体からの情報

1.ふくしまグリーンフォレストの会

平成 26 年 6 月 21 日、湯ノ岳山荘に磐城森林管理署長、福島県森林保課長、県いわき農林事務所副所長様をお迎えし平成 26 年度総会が開催されました

役員名簿

会長：平子作麿、副会長：小林正美、池之上幸弘
会計：伊藤貞夫 監事：阿部明義、山本洋一郎
支部長 会津：雪孝一、南会津：鈴木秀明、県北：阿部明義、
会津：山本洋一郎、県南：佐川美子
相双：高橋和子、いわき：佐藤行年。

○今年度の主な事業として「森づくり安全技術マニュアル」を配布し森づくりの安全の確保と技術の向上を図ることとしました。

2.福島県森の案内人の会いわき支部

平成 26 年 4 月 13 日（日）総会が開催され役員改選されました。

役員名簿

支部長：大内政義（新任）、副支部長：佐々木志津男（新任）、事務局・総務：鈴木信一（再任）

会計：小松 直子（新任）

会計監査：古川眞智子（再任）草野秀雄（新任）
森林館登録者いわき支部連絡者・渡辺久仁夫
いわき地方山火事連絡協議会構成会員（会長）

編集後記

今日 7/20 暑い日でしたが雨も降りました。庭のタチアオイの花が頂上に達しました。

タチアオイの花が頂上に達すれば梅雨が明けると言われております。今日、中国、四国は梅雨明けと発表されました。

東北地方は何時になるのか、庭のタチアオイを良く観察したら、前に咲き種となっている 10 段も下に新たに蕾が出来て咲き始めました。

これだと、梅雨明けは今月末になりそう。今回は、タチアオイの天気予報を検証する良い機会として観察したいと思っております。

（伊藤）

（発行）NPO 法人いわきの森に親しむ会
（発行責任者）松崎和敬（編集担当者）伊藤貞夫
（事務局）〒972-8326 いわき市常磐藤原町湯ノ岳 2
湯ノ岳山荘内

TEL/FAX 0246-44-3273

E-mail:yunodake@gray.plala.or.jp

HP:http://iwaki-mori.Jimdo.com/